

平成17年度予算案関係資料

1	平成17年度予算編成の基本方針	1
2	重点項目	1
3	予算規模	2
4	重点事業	
	(1) 子育て支援策	3
	(2) 地域資源の活用とスポーツの振興	7
	(3) 福祉の充実と健康増進の支援	9
	(4) 市民の安全・安心と快適環境の確保	12
	(5) 地域経済の活性化	15
	(6) 市民サービスの向上	17
5	予算編成案における主な行政改革の効果	20

平成17年2月
財政局財政部財政課
担当 林 岡安
連絡先 829 - 1153
内線 2513

平成17年度予算案の概要

1. 予算編成の基本方針

平成17年度予算においては、厳しい財政事情の下、市政運営に必要な財源の確保を図るとともに、岩槻市と合併後の「新生さいたま市」を市民の誰もが住んでよかった、誰もが行ってみたいと実感できる、次世代に誇り得る理想都市に実現するため、次の6項目を重点項目として予算の重点化を図ることとした。

また、財政調整基金・減債基金を取り崩すことなく、行政改革大綱に示した経常収支比率80%以下、起債制限比率15%以下の数値目標達成のため、消費的支出の徹底的な見直しを行うこととした。

2. 重点項目

(1) 「子育てするなら さいたま市」

未来を担う子供たちが健やかに育つよう、子育て支援策を展開する。

(2) 地域資源の活用とスポーツの振興

地域資源の活用とスポーツの振興を通して、まちづくりを推進する。

(3) 福祉の充実と健康増進の支援

市民が健康で、いきいきと生活できるよう、保健、福祉、医療サービスの充実を図る。

(4) 市民の安全・安心と快適環境の確保

市民が安心して暮らせる、安全で快適な生活環境を確保する。

(5) 地域経済の活性化

市内企業の振興、ベンチャービジネスの育成、起業家への支援など地域経済の活性化策を展開する。

(6) 市民サービスの向上

市民サービスの向上に向けた積極的な施策を展開する。

3. 予算規模

(1) 一般会計

一般会計予算総額は、岩槻市との合併により、前年度比1.4%の増となったが、前年度の減税補てん債借換分を除くと8.9%の増となる。

なお、さいたま市及び岩槻市の平成16年度予算合算額（減税補てん債借換分を除く）との比較では、0.01%の微増となる。

（平成17年度地方財政計画の規模 前年度比 1.1%程度）

一般会計予算額 363,465,000千円（前年度比1.4%増）

（平成16年度減税補てん債借換分を除くと前年度比8.9%増）

(2) 特別会計、企業会計

特別会計予算額 202,565,000千円（前年度比1.6%減）

企業会計予算額 99,794,750千円（前年度比97.4%増）

(3) 総額

全会計予算総額 665,824,750千円（前年度比8.3%増）

（平成16年度減税補てん債借換分を除くと前年度比12.8%増）

子育て支援策

「子育てするなら さいたま市」

未来を担う子どもたちが健やかに育つよう、子育て支援策を展開する。

平成17年度予算額 20,091,954千円

1 福祉部門 予算額 10,145,203千円

<新規> 子育て支援総合事業 14,637千円

- ・子育て支援コーディネーターを配置するとともに、育児に関する子育て支援総合ポータルサイトを構築する。

<新規> 幼稚園・保育所一体整備事業 45,000千円

- ・余裕教室を保育所に転用する私立幼稚園に改修・工事費用の一部を助成する。

<新規> 乳児院整備助成事業 24,818千円

- ・乳児院の不足を補うため、児童養護施設運営管理者に対し、施設内の保育棟改修の費用を助成する。

<新規> トワイライトステイ事業 5,000千円

- ・民間保育所において、夕方から夜間まで小学3年生以下の児童の一時預かりを実施する。

<新規> 24時間365日体制強化事業(児童虐待電話相談) 16,167千円

- ・休日夜間を問わず、虐待通告(相談)に応じられる体制を整備する。

<拡大> 乳幼児医療費支給事業 2,571,906千円

- ・平成18年1月から、18歳未満の児童が3人以上いる場合の所得制限を撤廃するなど、乳幼児医療費助成の支給要件を緩和する。

<拡大> 子育て支援センターの開設 55,159千円

- ・岩槻駅前及び与野本町駅前に、子育て支援センターを開設する。

<拡大> 児童手当等給付事業 5,181,130千円

- ・小学3年生までの児童を養育している者に児童手当を支給する。

<拡大> Mama'sルーム事業 19,104千円

- ・放課後児童クラブの午前中を開放するママーズルームを15か所から23か所に拡充する。

< 拡大 > 認可外保育施設（ナールーム・家庭保育室）運営事業 371,129千円
・待機児童の解消と保育の充実を図るため、市が認定した施設に助成する。

< 拡大 > 放課後児童クラブ整備事業 146,657千円
・新たに放課後児童クラブ4か所を整備する。

< 拡大 > 民間保育所等施設整備事業 449,842千円
・待機児童の解消を図るため、民間保育所に建設費の一部を助成する。

< 継続 > 療育センター整備事業 597,472千円
・障害児の早期発見・療育のための医療施設機能を有した通園施設を整備する。

< 継続 > 放課後児童健全育成事業 8,064千円
・民間学童保育所に家賃の一部を助成する。

< 継続 > ひとり親家庭等医療費支給事業 400,021千円
・母子または父子家庭における親と18歳までの子どもの医療費を無料化する。

< 継続 > ファミリーサポートセンター事業 21,797千円
・仕事と育児の両立を支援するため、会員相互による育児援助活動を実施する。

< 継続 > 児童養護施設の管理・運営事業 192,104千円
・3歳から18歳未満の児童を保護・養育する児童養護施設を管理・運営する。（指定管理者）

< 継続 > ブックスタート事業 7,824千円
・0歳児が絵本と親しみ親子のきずなを深めるきっかけづくりを支援するブックスタート事業を実施する。

< 継続 > 病児保育の実施 17,372千円
・病氣中及び病氣回復期の児童の一時保育を行う。

2 保健衛生部門	予算額	1,696,391千円
----------	-----	-------------

< 新規 > 子ども虐待予防家庭訪問事業 3,000千円
・子育て不安や養育上の問題を抱える家庭に対し、保健師等による継続的な家庭訪問を行う。

< 継続 > 小児慢性特定疾患の治療費支援 176,462千円
・小児慢性特定疾患の治療を支援する。

< 継続 > 乳幼児マス・スクリーニング検査の実施 19,250千円
・新生児の先天性代謝異常を早期に発見し、知的障害児等の発生を防止するための血液検査等を実施する。

< 継続 > 乳幼児健診の実施 357,072千円
・乳幼児の健全育成のため、4か月・10か月・1歳6か月・3歳健診を実施する。

< 継続 > 妊婦健診の実施 187,799千円
・胎児の健やかな発育のため妊婦健診を実施する。

< 継続 > 第2次小児救急医療の実施 280,000千円
・さいたま市小児救急医療センターにおいて、24時間体制で小児救急医療を実施する。

< 継続 > 周産期医療施設の運営 672,808千円
・母子保健医療の充実のため、さいたま市立病院において周産期医療を実施する。

3	教育部門	予算額	8,250,360千円
---	------	-----	-------------

< 新規 > 英語教育充実推進事業 6,000千円
・構造改革特別区域の認定を受け、小学5年から中学3年を対象とした英会話授業を実施する。

< 新規 > 防犯ボランティア事業 5,805千円
・児童の安全を確保するため、小学校に防犯ボランティアを配置する。

< 新規 > 学校と大学の連携推進事業 1,000千円
・埼玉大学と連携し、学生ボランティアによる教育活動への参加を推進する。

< 新規 > 日進・宮原地区小学校建設基本計画策定 4,500千円
・過大規模校の解消に向けて、新設する小学校の基本計画を策定する。

< 新規 > 養護学校仮設校舎建設事業 8,000千円
・教室の不足に伴い仮設校舎を建設する。

- < 拡大 > 学校図書館司書の配置 1 5 6 , 3 4 1 千円
 ・小中学校に計画的に専任司書を配置する。
- < 拡大 > 少人数指導サポート事業 3 8 , 6 3 6 千円
 ・少人数指導を実施するため、小中学校に非常勤講師を配置する。
- < 拡大 > 給食施設整備事業 1 , 1 3 3 , 6 3 5 千円
 ・小中学校給食施設を計画的に単独校調理方式に整備する。
- < 継続 > 与野八幡小学校校舎増築事業 3 8 6 , 0 8 2 千円
 ・児童数の増加に伴い校舎の増築を行う。
- < 継続 > 宮原小学校校舎改築事業 1 6 6 , 1 0 2 千円
 ・校舎の老朽化に伴い改築を行う。
- < 継続 > 辻南小学校建設事業 4 , 1 8 5 , 5 0 4 千円
 ・過大規模校の解消に向けて、南区辻 8 丁目に小学校を建設する。
- < 継続 > 中高一貫教育校建設事業 1 , 3 6 4 , 7 5 5 千円
 ・中高一貫教育を実施するため、市立浦和高等学校内に市立浦和中学校及び高等学校特別教室の建設工事を行う。
- < 継続 > 校舎の耐震診断・耐震補強工事 7 8 4 , 0 0 0 千円
 ・新耐震設計法前の基準により建設された校舎の耐震診断及び補強工事を行う。
- < 継続 > 特色のある学校づくり推進事業 1 0 , 0 0 0 千円
 ・創意工夫を生かし、学校に誇りや愛着が持てるような学校づくりを推進する。

地域資源の活用とスポーツの振興

地域資源の活用とスポーツの振興を通して、まちづくりを推進する。

平成17年度予算額 2,098,439千円

1 企画部門 予算額 387,176千円

- <新規> さいたま新都心都市拠点整備促進事業 22,500千円
・(仮称)さいたまタワーの誘致・建設促進活動を実施する。
- <新規> 盆栽関連施設整備事業 17,876千円
・盆栽関連施設を整備する。
- <新規> 2006年FIBAバスケットボール世界選手権開催支援事業 13,800千円
・2006年に行われるバスケットボール世界選手権のファイナルラウンド開催を支援する。
- <新規> ドリーム・ベースボールの開催 3,000千円
・合併記念事業として、名球会・プロ野球OBによる親善試合や講演会等を行う。
- <新規> 大原サッカー場グラウンド改修事業 280,000千円
・大原サッカー場の改修を行う。
- <継続> さいたまシティカップ開催事業 50,000千円
・世界の強豪チームを招き、本市をホームタウンとするJリーグチームと親善試合を行う。

2 市民文化部門 予算額 651,763千円

- <新規> 鉄道博物館整備促進事業 625,000千円
・大成駅東側を建設地とした鉄道博物館整備に対する助成を行う。
- <新規> (仮称)岩槻人形会館整備事業 24,163千円
・岩槻区に(仮称)岩槻人形会館の建設の基本構想、計画の策定を行い、日本人形購入の助成を行う。

< 新規 > 北沢楽天没後 50 年事業 1,500 千円

・北沢楽天の没後 50 年にあわせて作品の展示等を行う。

< 新規 > 文化芸術振興計画策定事業 1,100 千円

・本市の文化芸術の総合的な振興を図るため、(仮称)さいたま市文化芸術振興計画を策定する。

3	都市計画部門	予算額	197,500 千円
---	--------	-----	------------

< 新規 > 大宮公園サッカー場改築事業 100,500 千円

・大宮公園サッカー場の改築に向け、実施設計を行う。

< 新規 > 堀崎公園改修事業 97,000 千円

・堀崎公園サッカーグラウンドを人工芝に改修する。

4	生涯学習部門	予算額	862,000 千円
---	--------	-----	------------

< 継続 > (仮称)鈴谷地区公民館建設事業 862,000 千円

・中央区鈴谷地区に(仮称)鈴谷地区公民館を建設する。

福祉の充実と健康増進の支援

市民が健康で、いきいきと生活できるよう、保健、福祉、医療サービスの充実に努める。

平成17年度予算額 10,429,168千円

1 福祉部門 予算額 5,952,656千円

〔高齢者対策 2,075,220千円〕

<新規> (仮称)高齢者生きがい活動センター整備事業 152,466千円
・旧大宮火葬場跡地に高齢者の生きがい活動センターを整備する。

<拡大> 介護予防筋力トレーニング事業 40,000千円
・高齢者の介護度の軽度化を図り、重度化を抑制するため、筋力トレーニングを実施する。

<拡大> 特別養護老人ホーム建設補助事業 1,666,835千円
・待機者数の解消を図るため、民間社会福祉法人に対して建設費の助成を行う。

<拡大> 介護老人保健施設建設補助事業 55,000千円
・介護老人保健施設の整備を促進するため、医療法人に対して建設費の助成を行う。

<継続> 介護予防スイミング教室の実施 4,500千円
・高齢者の運動機能の維持・向上を図るため、介護予防スイミング教室を実施する。

<継続> ひとり暮らし高齢者等24時間緊急通報
及び相談業務の実施 148,904千円
・24時間いつでもボタンひとつで緊急通報や相談のできるコールセンターを設置する。

<継続> ひとり暮らし高齢者安否確認事業 7,515千円
・希望者に対して、月2回の伺い電話を実施する。

〔障害者対策 3,877,436千円〕

<新規> 盲ろう者通訳・介助員派遣事業 2,697千円
・重度盲ろう者のコミュニケーションの確保及び移動介助の支援を行う。

- < 新規 > 障害者スポーツ振興事業 1,198千円
 ・ 障害者スポーツ指導員の養成及び障害者の体力増強、交流を図るため各種教室を開催する。
- < 新規 > 発達障害者支援体制整備事業 1,304千円
 ・ 発達障害者に対する支援体制の整備を図る。
- < 新規 > 発達障害者相談支援等モデル事業 10,411千円
 ・ 発達障害児への専門的な支援、家族等への相談支援等のモデル事業を実施する。
- < 新規 > 知的障害者通所授産施設整備事業 135,660千円
 ・ 養護学校卒業後の知的障害者を対象とした通所施設を建設する費用の一部を助成する。
- < 拡大 > 障害者生活支援センター設置事業 4,410千円
 ・ 住み慣れた地域で障害者が安心して生活できるよう、生活支援センターを設置する。
- < 継続 > 精神障害者施設運営費等補助事業 282,911千円
 ・ 精神障害者が社会生活機能の回復を図るための訓練施設等に対して助成を行う。
- < 継続 > 障害者総合支援センター整備事業 13,560千円
 ・ 障害者総合支援センターの整備に向けて基本設計・実施設計を行う。
- < 継続 > 聴覚障害者情報提供施設運営費補助事業 2,313千円
 ・ 聴覚障害者の情報提供施設に対して運営費の一部を助成する。
- < 継続 > 心身障害者援護事業 692,226千円
 ・ 心身障害者のデイケア施設・小規模通所授産施設及び生活ホームに対し運営費、家賃等の助成を行う。
- < 継続 > 心身障害者医療費支給事業 2,567,466千円
 ・ 心身障害者の医療費を助成する。
- < 継続 > 自動車燃料費等の助成 163,280千円
 ・ 福祉タクシー利用料金または自動車燃料費を助成する。

2 保健衛生部門	予算額	4,476,512千円
----------	-----	-------------

- <新規> 乳がんX線撮影装置整備事業 30,000千円
・乳がん検診の向上を図るため、乳房X線撮影装置の整備を行う。
- <新規> 結核患者に対する服薬指導事業 3,290千円
・保健師による直接服薬確認指導を実施する。
- <拡大> うんどう遊園の設置 15,885千円
・高齢者が無理なく体力を維持できるように「うんどう遊園」を24か所から29か所に拡充する。
- <拡大> うんどう教室の開催 9,915千円
・高齢者を対象にうんどう遊園の遊具を利用した「うんどう教室」を実施する。
- <継続> (仮称)さいたま市民医療センター整備事業 1,529,320千円
・地域医療体制の充実、強化を図るため、新たな病院を整備する。
- <継続> (仮称)保健衛生会館整備事業 2,860,000千円
・保健所と保健衛生・環境公害等に関する検査研究機関の複合施設を整備する。
- <継続> 不妊治療支援事業 28,102千円
・次世代育成支援の一環として、不妊相談及び不妊治療費の助成を行う。

市民の安全・安心と快適環境の確保

市民が安心して暮らせる、安全で快適な生活環境を確保する。

平成17年度予算額 4,358,607千円

1 企画部門 予算額 16,000千円

- <新規>ニューシャトル大成駅設備改良事業 16,000千円
・鉄道博物館開業にあわせて、エレベーター等の設置及び駅舎改修を行う。

2 総務部門 予算額 71,936千円

- <新規>さいたま市洪水ハザードマップ作成事業 4,725千円
・荒川の浸水を想定した洪水ハザードマップを作成する。
- <継続>防災対策の実施 67,211千円
・災害に備え、災害備蓄品の整備等を行うとともに、防災訓練を実施する。

3 市民文化部門 予算額 703,099千円

- <拡大>防犯広報・啓発事業 10,500千円
・地域防犯活動団体及び公益事業者等と犯罪防止に向けた連携を強化する。
- <拡大>交通安全施設設置及び維持管理事業 692,599千円
・交通事故を防止するため、道路照明灯、反射鏡等を設置する。

4 保健衛生部門 予算額 914,822千円

- <継続>食の安全確保対策事業 16,277千円
・食の安全に関する基本方針に基づき、食の安全啓発と検査・監視体制を強化する。
- <継続>(仮称)動物愛護ふれあいセンター整備事業 898,545千円
・(仮称)動物愛護ふれあいセンターの整備を行う。

5	環境部門	予算額	208,435千円
---	------	-----	-----------

<新規> 地球温暖化対策地域推進計画策定事業 8,500千円

・ 温室効果ガスの排出抑制に向けて、地球温暖化対策地域推進計画を策定する。

<新規> 天然ガス自動車普及促進事業 60,300千円

・ (仮称)さいたま市天然ガス自動車普及促進戦略を策定し、環境整備・車両導入支援等を行う。

<拡大> 低公害車の導入 89,585千円

・ 自動車排出ガスの抑制を図るため、塵芥収集車等に低公害車を導入する。

<継続> 一般廃棄物処理基本計画策定事業 10,000千円

・ 一般廃棄物処理基本計画の見直しを行う。

<継続> 自動車排ガス対策の実施 40,050千円

・ 国及び八都県市が協調して、自動車排気ガス対策を実施する。

6	都市計画部門	予算額	471,256千円
---	--------	-----	-----------

<新規> 都市景観形成基本計画策定事業 9,500千円

・ 都市景観の基本計画を策定するため、現状の把握及び課題の調査・検討を行う。

<新規> 環境空間整備事業 3,700千円

・ 新幹線沿線環境空間の効果的な利用を図るため、基本計画を策定する。

<継続> 駅舎エレベーター設置事業 61,400千円

・ 障害者、高齢者等の移動の円滑化等を図るため、市内駅施設のバリアフリー化を進める。

<継続> 合併記念見沼公園整備事業 396,656千円

・ 見沼たんぼ内に合併記念見沼公園を整備する。

7	建設部門	予算額	702,827千円
---	------	-----	-----------

<新規> 橋りょう予防管理事業 15,000千円

・ 橋りょうの保守管理を計画的・効率的に行うために、橋りょう点検マニュアルを作成する。

<拡大> 指扇踏切改良事業 208,697千円

・ 踏切事故の防止及び道路交通の円滑化を図るため、踏切道の拡幅を行う。

<継続> あんしん歩行エリア整備事業 93,550千円

・ 交差点改良、グリーンベルト設置、歩道新設、道路照明等の増設を行う。

<継続> 橋りょうの保全 385,580千円

・ 橋りょうの保全を図るため、落橋防止対策工事や高欄取替工事等を行う。

8	消防部門	予算額	1,270,232千円
---	------	-----	-------------

<新規> 特殊車両の整備 125,830千円

・ 特殊災害対応自動車の整備を行う。

<継続> 聴覚障害者メール119番通報 840千円

・ 聴覚障害者等を対象として、文字情報によるメール119番通報の受信を実施する。

<継続> 消防署・所の整備 1,143,562千円

・ 消防施設の充実を図るため、美園出張所の移転建設及び大成出張所、日の出出張所の実施設計等を行う。

地域経済の活性化

市内企業の振興、ベンチャービジネスの育成、起業家への支援など地域経済の活性化策を展開する。

平成17年度予算額 6,339,245千円

1 産業経済部門 予算額 6,195,450千円

<新規> 雇用対策推進事業 4,000千円

・市の雇用対策の方向性を検討するため、就労実態調査を実施する。

<新規> 観光振興ビジョン策定事業 3,000千円

・観光資源を生かし観光産業の振興を図るため、さいたま市観光振興ビジョンの基礎調査を行う。

<新規> 創業支援資金融資事業 268,332千円

・創業者の経営安定及び向上を図るため、創業者向け融資制度を創設する。

<継続> さいたま市産業創造財団運営助成事業 170,682千円

・地域経済の活性化と市内中小事業者の福利厚生制度拡充のため運営助成を行う。

<継続> 早期起業家育成事業 5,191千円

・小中学生を対象に市場・流通等について学習する機会を設け、起業家精神を備えた人材を育成する。

<継続> 商工見本市の開催 24,000千円

・市内外の商工業者による自社製品の販売、企業PRのための見本市を開催する。

<継続> 中小企業資金融資事業 5,720,245千円

・中小企業者の経営安定を図るため、低利の事業資金の融資のあっせん等を行う。

2 農業部門	予算額 128,295千円
--------	---------------

<新規> 農業政策推進事業 7,945千円
・さいたま市農業振興ビジョンに基づき、農家・市民とともに都市農業を推進する。

<継続> 農業環境整備事業 120,350千円
・農道及び用排水路を整備し地域の環境整備を推進する。

3 都市開発部門	予算額 15,500千円
----------	--------------

<継続> 企業誘致推進事業 15,500千円
・都市開発にあわせて、市場動向を把握し、地勢条件を活かした戦略的な企業誘致を行う。

市民サービスの向上

市民サービスの向上に向けた積極的な施策を展開する。

平成17年度予算額 8,366,377千円

1 企画部門 予算額 2,276,778千円

<新規> 市民活動支援の充実 30,703千円

・市民活動団体等が行う市民公益活動を支援する。

<拡大> コミュニティバス運行事業 135,064千円

・コミュニティバス路線の見直しを行うとともに、新たな路線を開設する。

<継続> (仮称)片柳地区複合公共施設建設事業 2,111,011千円

・見沼区片柳地区に複合公共施設を建設する。

2 市民文化部門 予算額 1,676,115千円

<拡大> 区まちづくり推進事業 1,050,700千円

・区民と協働して、各区独自の特色あるまちづくりを推進する。

(1) まちづくり基本経費 区民会議・コミュニティ会議等の経費

(2) まちづくり事業経費 区民と協働して行う特色ある事業に要する経費

(3) 区民満足度UP経費 区民の要望に即時対応する経費

<拡大> 自動交付機設置事業 30,482千円

・住民票、印鑑登録証明書等の写し等の自動交付機を市内全区に設置する。

<拡大> 郵便局における証明書の発行取次ぎ事業 31,609千円

・市内72郵便局において、住民票、印鑑登録証明書等の証明書発行の取次ぎを行う。

<継続> プラザウエスト管理運営事業 448,000千円

・桜区に地域の中核となるプラザウエストを開設する。

< 継続 > (仮称)プラザノース整備事業 31,987千円

・北部拠点宮原地区内に地域の中核となる(仮称)プラザノースをPFI手法により整備する。

< 拡大 > 国際交流推進事業 83,337千円

・新たに設立する(仮称)財団法人さいたま市国際交流協会と協働して、一層の国際化の推進を図る。

3	福祉部門	予算額	11,000千円
---	------	-----	----------

< 新規 > 社会福祉協議会区事務所整備事業 9,500千円

・各区に区事務所機能の拡充と体制整備を図る。

< 新規 > 福祉サービス第三者評価事業 1,500千円

・市社会福祉協議会が福祉サービス第三者評価事業の評価機関体制を整備することに対し助成する。

4	保健衛生部門	予算額	303,400千円
---	--------	-----	-----------

< 拡大 > 立体墓地第2期整備事業 135,000千円

・思い出の里市営霊園立体墓地を整備する。

< 拡大 > 墓園緑地整備事業 168,400千円

・思い出の里市営霊園南側緑地を整備する。

5	都市開発部門	予算額	3,735,813千円
---	--------	-----	-------------

< 拡大 > 日進駅周辺まちづくり推進事業 78,470千円

・日進駅北口の開設及び工専地区の土地利用転換の推進を行う。

< 継続 > 東岩槻駅舎改修事業 864,000千円

・東岩槻駅南口の開設にあわせ、駅舎の橋上化及び南北自由通路の整備を行う。

< 継続 > JR川越線日進・指扇駅間新駅設置事業 82,206千円

・平成18年度末の新駅開業を目指し、用地取得等を行う。

< 継続 > 浦和駅周辺鉄道高架化推進事業 2,711,137千円

・平成20年度の竣工を目指し、浦和駅の鉄道高架化並びに東西市街地の一体化を推進する。

6	建設部門	予算額	159,699千円
---	------	-----	-----------

< 継続 > 特定優良賃貸住宅の家賃補助 3,298千円

- ・ 中堅所得者向けに供給される民間賃貸住宅を認定し、家賃補助を行う。

< 継続 > 高齢者向け優良賃貸住宅の家賃補助 10,800千円

- ・ 高齢者向けに供給される民間賃貸住宅を認定し、家賃補助を行う。

< 継続 > (仮称)市営春野団地建設事業 145,601千円

- ・ 見沼区春野地区に(仮称)春野団地を建設する。

7	生涯学習部門	予算額	172,472千円
---	--------	-----	-----------

< 拡大 > 図書館新コンピュータシステムの導入 169,421千円

- ・ 蔵書の一括検索やインターネットによる予約を可能にするため、市内全図書館に新コンピュータシステムを導入する。

< 拡大 > 図書館の祝日等の開館 3,051千円

- ・ 図書館の祝日等の開館を7か所から9か所に拡充する。

8	市立病院部門	予算額	31,100千円
---	--------	-----	----------

< 継続 > 医療総合情報システム更新事業 31,100千円

- ・ 医療総合情報システムを更新する。

5 . 予算編成案における主な行政改革の効果

行政評価の活用等により、事業の重点化、経常経費の縮減等に努め、行政改革の推進を予算編成に反映させた。

予算の効果	26億9千万円
-------	---------

市税徴収体制の強化	3億3千万円
民間委託の推進によるコスト縮減	2億3千万円
経常経費の縮減	1億6千万円
外郭団体の整理合理化	3億5千万円
職員人件費の抑制	1億6千万円